

特集 損害保険協会 100年のあゆみ

損害保険教育・広報

【第15回】

本特集では、日本損害保険協会が創立100周年にあたり刊行した「日本損害保険協会百年史」をもとに、同協会の歩みを紹介している。第15回の今回は、同協会が実施している損害保険教育・広報活動について、簡単に振り返る。

1. 損害保険教育

損害保険協会は、1960年代半ばから火災予防を中心とした損害保険に関する知識の周知を図ってきた。その後、モーターゼーションの進展による交通事故の増加、賠償責任概念の浸透、巨大な自然災害の発生等、生活をとり巻くリスクが多様化し、消費者の損害保険に対する一層の理解が重要になっている。

(1) 学校教育
ア. 高校を対象とした教育
1963年以来、全国の高校が主催する損害保険講演会へ講師を派遣しており、2006年度から、財団法人生命保険文化センター(現在は公益財団法人)との共同企画により、高校の家庭科教師を対象とした夏季セミナーを東京や大阪等で実施している。また、副教材「授業実践プログラム」や「リスク教育副教材」を作成し、全国の高校で活用されている。

過去には、「高校生の損害保険作文コンクール」(1963年度〜2005年度)を実施したり、高校教師向け副教材誌「高校教育資料」およびその前身である「損害保険」を作成(1961年〜2001年)として、授業用ツールとして、授業プランキット「仮想生活ゲームで学ぶ家計支出と自己責任」を作成し、その後は、パソコンゲーム版を作成してウェブサイトに公開した(2005年〜2011年)。

イ. 大学・義務教育課程を対象とした教育
1998年度から、大学・短大・高等専門学校等からの要請に応じて単発講座を行った。また、連続講座については、大分大学からの要請を受けて2002年度および2003年度に開設し、2009年以降は、地域の国立大学および私立大学に對して働きかけた結果、全国15(2016年度現在)の大学で連続講座を開設している。

さらに、2009年には消費者向けの専用ウェブサイト「そんぼのホン」を開設し、自身の理解度を確認することができ、「そんぼ検定」を設ける等、消費者が損害保険を体系的に正しく理解できるように工夫している。

また、消費生活相談員が一般消費者からの相談や苦情への対応に活用することを目的として、「損害保険相談事例100問100答」(1999年)や「損害保険相談事例200問200答」(2006年)、「そんぼ相談ガイド」(2008年)を作成するとともに、損害保険の仕組み等を解説するビデオ「くらしの損害保険」(1985年度)、「ソノボ博士と学ぶくらしの損害保険」(1998年度)、「そのほのほ」(1998年度)、「D.V.D」(1998年度)、「くらしの損害保険」(2005年)や、交通安全啓発用ビデオ「交通事故と問われる責任」(1991年)、「D.V.D」(交通事故!もしかすると、あなたも加害者に?問われる責任と賠償) (2004年)等を作成し各方面に提供した。

また、消費生活相談員が一般消費者からの相談や苦情への対応に活用することを目的として、「損害保険相談事例100問100答」(1999年)や「損害保険相談事例200問200答」(2006年)、「そんぼ相談ガイド」(2008年)を作成するとともに、損害保険の仕組み等を解説するビデオ「くらしの損害保険」(1985年度)、「ソノボ博士と学ぶくらしの損害保険」(1998年度)、「そのほのほ」(1998年度)、「D.V.D」(1998年度)、「くらしの損害保険」(2005年)や、交通安全啓発用ビデオ「交通事故と問われる責任」(1991年)、「D.V.D」(交通事故!もしかすると、あなたも加害者に?問われる責任と賠償) (2004年)等を作成し各方面に提供した。

また、消費生活相談員が一般消費者からの相談や苦情への対応に活用することを目的として、「損害保険相談事例100問100答」(1999年)や「損害保険相談事例200問200答」(2006年)、「そんぼ相談ガイド」(2008年)を作成するとともに、損害保険の仕組み等を解説するビデオ「くらしの損害保険」(1985年度)、「ソノボ博士と学ぶくらしの損害保険」(1998年度)、「そのほのほ」(1998年度)、「D.V.D」(1998年度)、「くらしの損害保険」(2005年)や、交通安全啓発用ビデオ「交通事故と問われる責任」(1991年)、「D.V.D」(交通事故!もしかすると、あなたも加害者に?問われる責任と賠償) (2004年)等を作成し各方面に提供した。

また、消費生活相談員が一般消費者からの相談や苦情への対応に活用することを目的として、「損害保険相談事例100問100答」(1999年)や「損害保険相談事例200問200答」(2006年)、「そんぼ相談ガイド」(2008年)を作成するとともに、損害保険の仕組み等を解説するビデオ「くらしの損害保険」(1985年度)、「ソノボ博士と学ぶくらしの損害保険」(1998年度)、「そのほのほ」(1998年度)、「D.V.D」(1998年度)、「くらしの損害保険」(2005年)や、交通安全啓発用ビデオ「交通事故と問われる責任」(1991年)、「D.V.D」(交通事故!もしかすると、あなたも加害者に?問われる責任と賠償) (2004年)等を作成し各方面に提供した。

また、消費生活相談員が一般消費者からの相談や苦情への対応に活用することを目的として、「損害保険相談事例100問100答」(1999年)や「損害保険相談事例200問200答」(2006年)、「そんぼ相談ガイド」(2008年)を作成するとともに、損害保険の仕組み等を解説するビデオ「くらしの損害保険」(1985年度)、「ソノボ博士と学ぶくらしの損害保険」(1998年度)、「そのほのほ」(1998年度)、「D.V.D」(1998年度)、「くらしの損害保険」(2005年)や、交通安全啓発用ビデオ「交通事故と問われる責任」(1991年)、「D.V.D」(交通事故!もしかすると、あなたも加害者に?問われる責任と賠償) (2004年)等を作成し各方面に提供した。

連続講座を開設している大学学部(年度は講座開設年度)
2007年度: 琉球大学観光産業科学部
2008年度: 香川大学法学部
2010年度: 一橋大学法学部
2011年度: 北海道大学法学部、東北大学経済学部、埼玉大学経済学部、金沢大学人間社会学域法学類、広島大学経済学部、山口大学経済学部、長崎大学経済学部
2012年度: 福島大学経済経営学類
2014年度: 上智大学経済学部、名古屋大学法学部、大阪大学法学部
2015年度: 九州大学経済学部

また、消費生活相談員が一般消費者からの相談や苦情への対応に活用することを目的として、「損害保険相談事例100問100答」(1999年)や「損害保険相談事例200問200答」(2006年)、「そんぼ相談ガイド」(2008年)を作成するとともに、損害保険の仕組み等を解説するビデオ「くらしの損害保険」(1985年度)、「ソノボ博士と学ぶくらしの損害保険」(1998年度)、「そのほのほ」(1998年度)、「D.V.D」(1998年度)、「くらしの損害保険」(2005年)や、交通安全啓発用ビデオ「交通事故と問われる責任」(1991年)、「D.V.D」(交通事故!もしかすると、あなたも加害者に?問われる責任と賠償) (2004年)等を作成し各方面に提供した。



損害協会の記念ロゴ

(1) 消費者行政機関との懇談会
(そんぼ消費者安心懇談会)
1976年以来、損害保険の理解促進および損害保険に対する意見・要望等の聴取を目的に消費生活センターとの懇談会を開始した。当初は年4か所程度であったが、段階的に開催場所を増やし、2007年度からは、付随的な保険金の支払い漏れ問題を契機に、名称を「そんぼ消費者安心懇談会」に改め、基本的に県単位で毎年開催するようになった。現在は、地域の実情に合わせ、懇談会を開催している。

(2) 損害保険懇談会(有識者懇談会)
1991年3月に「わかりやすい損保、身近な損保」の実現に向けた具休策の1つとして、損害保険協会会長等が各界の有識者と意見交換する懇談会の設置を決定した。第1回(1991年6月)以後、年に2回程度懇談会を開催してきたが、2007年4月の開催をもって発展的に見直しされ、「消費者の声」諮問会議(2006年9月設置)に引き継がれた。

(3) 消費者団体との懇談会
これまでも様々な消費者団体との対話・交流を行ってきたほか、1998年からは、東京地区の主要消費者団体幹部との懇談会や個別訪問による意見交換、また、関西地区においても、全国消費生活相談員協会関西支部等との懇談会を開催している。

(4) ウェブサイトの開設
2002年に一般消費者が損害保険に関する情報を収集できるスペースとして、損害保険協会本部に「そんぼ情報スクエア」を開設し、損害保険各社の保険商品パンフレットを設置したほか、損害保険啓発ビデオの視聴や損害保険の相談コーナーを設けた。2012年には、ITの進展により、来訪者誘導型の情報提供活動は一定程度役割を果たしたと判断し、保険商品パンフレットコーナーのみを残して、スペースを縮小した。

(5) 自賠責保険広報活動
自賠責保険は自動車の所有者に加入が義務づけられていることから、自賠責保険制度の理解促進および車検制度対象外のバイクの付保漏れ防止を目的として、1966年からマス媒体等を利用した広報活動を毎年実施している。

(6) 地震保険広報活動
阪神・淡路大震災が発生した当時(1995年1月)、地震保険の普及率が低かったことから、地震保険の認知度向上を目指す取り組みが必要となり、同年10月から、マス媒体等を利用した広報活動を積極的に展開している。

(7) 防火広報活動
消防庁との共催で毎年、防火標語を募集し、入選作品を全国統一防火標語として防火ポスターに掲載している。防火ポスターは、官公庁、全国の自治体・消防署、各種業界団体等に配布し、防火意識の啓発に活用している。

(8) 自然災害広報活動
台風や雪害等の自然災害への備えに対する消費者への情報提供を充実させるため、2005年度からマス媒体を活用した広告を実施している。2016年度からは、これまでの自然災害に対する啓発に加え、自然災害の被災者に対するお見舞いと自然災害損害契約照会制度の周知を目的とした見舞い広告を実施している。

(9) 報道機関対応
損害保険に対する理解促進を目的に、金融記者クラブにおいて、協会長記者会見を定期的に開催している。また、損害保険業界に関する情報を、広く社会一般に発信するため、金融記者クラブや県・市庁の記者クラブにニュースリリースを行っている。

また、主要新聞社・通信社・NHKの経済部長、社会部長、論説委員・解説委員および経済誌編集長ならびにブロック紙を対象とした懇談会を、毎年または隔年で実施した。2000年代後半から2010年代にかけて懇談会のあり方を見直し、2014年度以降は前述の経済部長との懇談会を開催しているほか、各支部では地方紙等の地元報道機関を対象とした懇談会を継続開催している。

【文責】日本損害保険協会

2. 消費者行政機関等との対話・交流活動

これまでも様々な消費者団体との対話・交流を行ってきたほか、1998年からは、東京地区の主要消費者団体幹部との懇談会や個別訪問による意見交換、また、関西地区においても、全国消費生活相談員協会関西支部等との懇談会を開催している。

また、消費生活相談員が一般消費者からの相談や苦情への対応に活用することを目的として、「損害保険相談事例100問100答」(1999年)や「損害保険相談事例200問200答」(2006年)、「そんぼ相談ガイド」(2008年)を作成するとともに、損害保険の仕組み等を解説するビデオ「くらしの損害保険」(1985年度)、「ソノボ博士と学ぶくらしの損害保険」(1998年度)、「そのほのほ」(1998年度)、「D.V.D」(1998年度)、「くらしの損害保険」(2005年)や、交通安全啓発用ビデオ「交通事故と問われる責任」(1991年)、「D.V.D」(交通事故!もしかすると、あなたも加害者に?問われる責任と賠償) (2004年)等を作成し各方面に提供した。

また、消費生活相談員が一般消費者からの相談や苦情への対応に活用することを目的として、「損害保険相談事例100問100答」(1999年)や「損害保険相談事例200問200答」(2006年)、「そんぼ相談ガイド」(2008年)を作成するとともに、損害保険の仕組み等を解説するビデオ「くらしの損害保険」(1985年度)、「ソノボ博士と学ぶくらしの損害保険」(1998年度)、「そのほのほ」(1998年度)、「D.V.D」(1998年度)、「くらしの損害保険」(2005年)や、交通安全啓発用ビデオ「交通事故と問われる責任」(1991年)、「D.V.D」(交通事故!もしかすると、あなたも加害者に?問われる責任と賠償) (2004年)等を作成し各方面に提供した。

また、消費生活相談員が一般消費者からの相談や苦情への対応に活用することを目的として、「損害保険相談事例100問100答」(1999年)や「損害保険相談事例200問200答」(2006年)、「そんぼ相談ガイド」(2008年)を作成するとともに、損害保険の仕組み等を解説するビデオ「くらしの損害保険」(1985年度)、「ソノボ博士と学ぶくらしの損害保険」(1998年度)、「そのほのほ」(1998年度)、「D.V.D」(1998年度)、「くらしの損害保険」(2005年)や、交通安全啓発用ビデオ「交通事故と問われる責任」(1991年)、「D.V.D」(交通事故!もしかすると、あなたも加害者に?問われる責任と賠償) (2004年)等を作成し各方面に提供した。

また、消費生活相談員が一般消費者からの相談や苦情への対応に活用することを目的として、「損害保険相談事例100問100答」(1999年)や「損害保険相談事例200問200答」(2006年)、「そんぼ相談ガイド」(2008年)を作成するとともに、損害保険の仕組み等を解説するビデオ「くらしの損害保険」(1985年度)、「ソノボ博士と学ぶくらしの損害保険」(1998年度)、「そのほのほ」(1998年度)、「D.V.D」(1998年度)、「くらしの損害保険」(2005年)や、交通安全啓発用ビデオ「交通事故と問われる責任」(1991年)、「D.V.D」(交通事故!もしかすると、あなたも加害者に?問われる責任と賠償) (2004年)等を作成し各方面に提供した。

また、消費生活相談員が一般消費者からの相談や苦情への対応に活用することを目的として、「損害保険相談事例100問100答」(1999年)や「損害保険相談事例200問200答」(2006年)、「そんぼ相談ガイド」(2008年)を作成するとともに、損害保険の仕組み等を解説するビデオ「くらしの損害保険」(1985年度)、「ソノボ博士と学ぶくらしの損害保険」(1998年度)、「そのほのほ」(1998年度)、「D.V.D」(1998年度)、「くらしの損害保険」(2005年)や、交通安全啓発用ビデオ「交通事故と問われる責任」(1991年)、「D.V.D」(交通事故!もしかすると、あなたも加害者に?問われる責任と賠償) (2004年)等を作成し各方面に提供した。



ウェブサイトのトップページ画面